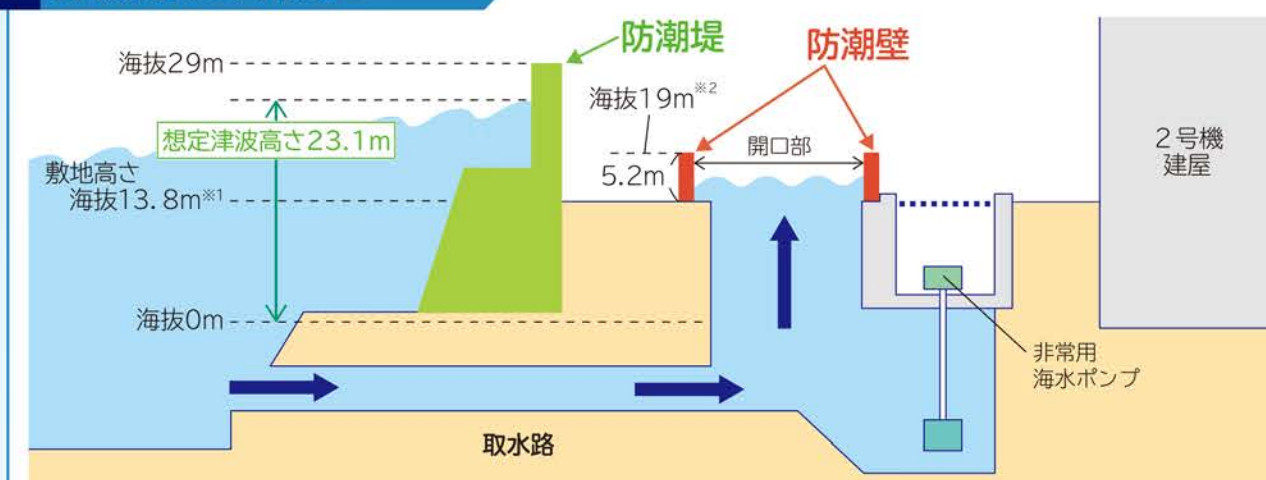


### 《女川原子力発電所2号機の津波対策を紹介します》

当発電所では、2号機の安全対策工事について、本年11月の完了を目指し鋭意取り組んでおります。今回は、津波対策として進めている防潮堤および防潮壁の工事を紹介します。

#### 津波対策の概念図



※1 東日本大震災により牡鹿半島全体が約1m地盤沈下(震災前の敷地高さは海拔14.8m)  
※2 2号機の場合

#### 防潮壁

○津波により取水路などから押し上げられた海水が敷地内に流入することを防ぐため、敷地側の開口部を囲むように海拔19mの防潮壁(鋼製のパネル)を設置します。

#### 現在の状況

● 防潮壁の設置工事などを実施中



#### 防潮堤

- 新規基準や東日本大震災に関する最新の知見などを踏まえ、発電所に到達する津波の最高水位を23.1mと評価しました。これに対して国内最大級の海拔29mの防潮堤を設置します。
- 防潮堤は盛土式が一般的ですが、総延長約800mのうち約680mは発電所の敷地確保※などのため「鋼管式鉛直壁」とし、残りの約120mは発電所敷地側から海側(港湾部)への道路を確保するため「盛土式(セメント改良土)」としています。

※盛土式の防潮堤で29mの高さを確保するためには約100mの裾野が必要。発電所敷地側には、運転に必要な設備などがすでに設置されていたため、十分な裾野を確保することが困難だった

#### 現在の状況

● 発電所敷地側と海側(港湾部)をつなぐ道路の設置工事などを実施中



主な安全対策と工事状況の詳細について、当社ホームページで紹介しておりますので、ぜひご覧ください。





## 《「牡鹿鯨まつり」に参加しました》

8月20日、捕鯨の町・牡鹿の文化を伝承する「牡鹿鯨まつり」が開催されました。

当日は、発電所員16名が運営スタッフとして参加。当社マスコットキャラクター「マカプウ」の大型エア遊具や手回し発電機などの体験ブースを出展し、多くの方々に楽しんでいただきました。

また、多くの来場者で賑わった鯨の炭火焼き無料試食コーナーや牡鹿地区の子どもたちによるソーラン踊り、太鼓演奏などが披露されたお祭りステージの運営も手伝わせていただきました。

今後も地域の一員として地域のお祭りやイベントに参加してまいります。



東北電力のマスコットキャラクター「マカプウ」の大型エア遊具

## 《小屋取浜および夏浜の清掃を行いました》

8月2日、発電所員35名が地域の方と協力し「鳴り砂」で知られる小屋取浜および夏浜の清掃活動を行いました。当日は、早朝6時から約1時間、浜辺に打ち寄せられた流木やごみを拾い集めました。今後も地域の一員として環境美化活動に取り組んでまいります。



清掃の様子



地域の方と発電所員

## 《「第22回東北電力図画コンクール」一般投票のお願い》

一次審査を通過した200点の作品からお気に入りの作品に投票しよう！

「第22回東北電力図画コンクール」に応募いただいた4,182点の作品の中から、一次審査を通過した200点の作品※を10月1日から29日までの期間(休館日の16日を除く)、女川原子力PRセンターに展示します。

会場には、お気に入り作品(最大3作品)に票を投じることができる投票用紙を準備しています。子どもたちがのびのびと描いた作品をご覧ください、ぜひ、お気に入り作品へ投票をお願いします。

なお、入賞作品は、最終審査を経て、12月頃に決まる予定です。

※一次審査を通過された皆さまには、9月中旬に各学校・保育園などを通じてお知らせします

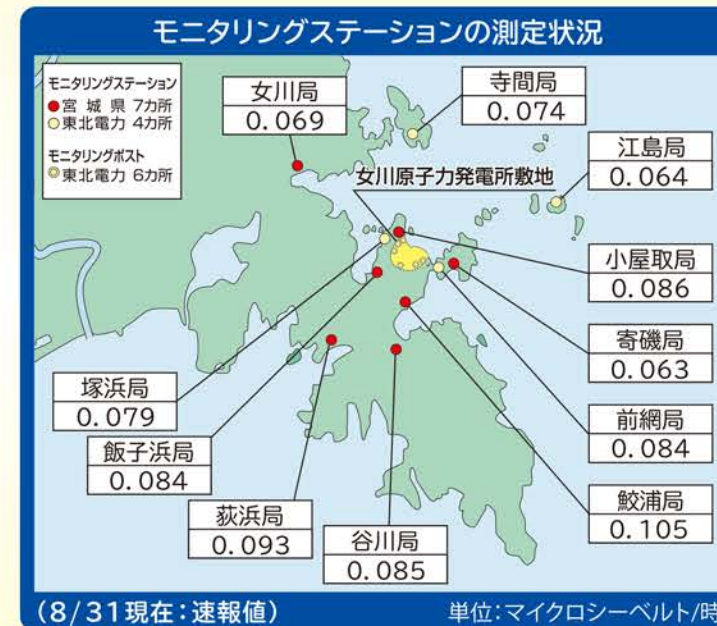


昨年の展示の様子

## 《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※<sup>1</sup>やモニタリングステーション※<sup>2</sup>で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの2023年8月31日の測定値は、最大で0.045マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



### (参考)モニタリングポストの最小値と最大値※<sup>3</sup>

〈東北地方太平洋沖地震発生日〉	
2011年3月11日	0.027~0.064
〈地震発生後最大値〉	
2011年3月13日	1.8~21※ <sup>4</sup>
〈地震発生から2年と至近2年の(4/1)値および前月値〉	
2012年4月1日	0.063~0.098
2013年4月1日	0.055~0.076
2022年4月1日	0.033~0.045
2023年4月1日	0.034~0.046
2023年8月1日	0.035~0.040
2023年8月31日	0.033~0.045

単位:マイクロシーベルト/時

※<sup>1</sup>モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されています。

※<sup>2</sup>モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

※<sup>3</sup>モニタリングポストの測定値は、宇宙線(宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線)の影響分が含まれないため、モニタリングステーションの測定値より0.02~0.04マイクロシーベルト/時程度低い測定値となっています。

※<sup>4</sup>東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。再生紙を利用しています



女川原子力PRセンター (〒986-2221 女川町塚浜字前田123)

お問い合わせ先

開館時間 9:30~16:30

休館日 毎月第3月曜日(祝日の場合は翌日)、

電話番号 0225-53-3410

年末年始

